平成 24 年度日本コンクリート工学会第 1 回拡大幹事会　議事録

日　時：平成 24 年 12 月 27 日
場　所：愛媛大学工学部 2 号館環境建設工学科環境建設演習室
出席者：氏家支部長，橋本幹事，古田幹事，甲斐常任委員，島常任委員，横井常任委員，森本常任委員，紙田常任委員代理，堺支部監事，岡崎(四国支部事務局)

配付資料

1-0　平成 24 年度日本コンクリート工学会第 1 回拡大幹事会議事次第
1-1　平成 23 年度日本コンクリート工学会第 2 回拡大幹事会議事録(案)
1-2　平成 24 年 6 月臨時理事会議事録
1-3　平成 24 年 6 月定例理事会議事録(案)
1-4　平成 24 年 6 月第二次定例理事会議事録(案)
1-5　平成 24 年 8 月定例理事会議事録(案)
1-6　平成 24 年 10 月定例理事会議事録(案)
1-7　平成 24 年 12 月定例理事会議事次第
1-8　JCI 四国支部平成 24 年度活動状況および今後の予定
1-9　H24 年度 JCI 四国支部見学会報告
1-10　年次大会 2013(名古屋)実行計画(案)
1-11　コンクリート工学年次大会 2012(広島)各種行事参加者数等一覧
1-12　JCI 年次大会広島(2012)申し送り事項
1-13　コンクリート工学年次大会 2014(高松)

●支部長挨拶

氏家支部長より，拡大幹事会開催にあたって挨拶が行われた．

審議事項

１．平成 23 年度第 2 回拡大幹事会議事録確認

資料 1-1 に基づき，平成 23 年度第 2 回拡大幹事会議事録の説明が岡崎よりなされた．JCI 四国支部主催の見学会場所は高知港防波堤に修正がなされた．

２．理事会報告

資料 1-1，1-2，1-3，1-4，1-5，1-6，1-7 に基づき甲斐常任委員より本部理事会報告がなされた．

6 月に開催された臨時理事会で，枡田委員長，丸山・小林副会長が退任し，魚本委員長，阿部・藤井副委員長，河合専務理事が就任した．

12 月に開催された定例理事会にて，丸山 JCI 標準化委員会委員長からコンクリートに関する推奨用語の説明がなされた．JCI の活動は土木・建築分野に跨がり，同じ意味であっても使用される用語の相違が

あるため，JCI 内の各種委員会でも用語の不統一が見られる．用語は統一されることが望ましいため，コンクリートに関する推奨用語が発表され，JCI 各種出版物や技士試験・診断士試験問題において活用することが決議された．また，コンクリート診断士講習会の受講者数について報告がなされた．

続いて，丸山長期財政安定化委員会委員長により，JCI 財政状況悪化に伴う支出削減に関する検討結果について報告があった．JCI 負担での懇親会は 1 委員会につき年 1 回以下とし，負担額上限を 5250 円とすること，シンポジウムに関する懇親会費は，JCI は負担しないが，シンポジウム収益から 20%を間接経費として差し引いた額の一部を充当することができること，講習会，試験，研修等での現地における懇親会費用を JCI は負担しないこと，懇親会参加による帰宅不能者への宿泊費を JCI は負担しないことが報告された．弁当の支給については，昼食の場合は 10 時以前の開始，12 時を超えて終了する場合，夕食については 16 時以前から開始し 18 時を超えて終了する場合にのみとすること，夕刻以降から委員会が開催される場合は夕食を各自食べてから開始することなどが報告された．また，コンクリート工学の出版費用削減のため，カラーページを削減することが報告された．一ページでもカラーがあると印刷費用が格段に高くなるので，カラーページを控えるようにとのことである．また，委員会報酬等に関する内規の用語統一について，無報酬の業務であっても，金銭が支払われる場合があり，税収の表記上混乱が生じるため，これらの関する用語を統一することが報告された．

次に，決議事項について報告がなされた．長期財政安定化委員会より，航空運賃についてはこれまで一律往復割引の正規料金を支給していたが，財政の緊縮化のため，領収書による実費精算に加え，原則として特割，旅割，特便割引，先特割引を優先して購入いただくこととするが，やむを得ず予約変更が生じた場合のキャンセル代金は JCI が実費を支払うとすることが決議された． また，主任技師での口述試験の廃止が決議された．廃止となることで，いわゆる資格取得を趣味としコンクリートの実務経験が皆無の者が合格すること，記述式試験の難度の上昇が懸念されるが，会場費用・面接者への旅費・謝金に要する費用が高額となることに加え，筆記試験で既に試された内容の問題を口述試験においても課していること，試験監督者ごとに課している問題が著しく異なるなどの非常に多くの問題があるので，廃止とすることが決議された．なお，正式に決定された場合，ホームページで具体的な内容は述べられる．また，コンクリート工学年次大会収益支部還元金について，本年開催された広島大会で約 500 万円の黒字が報告された．このうち 7 割が事務経費として本部の収入となるが，残りの 3 割である 150 万円は支部に還元されることが決議された．

３．平成２４年度活動状況および今後の予定

氏家支部長より，資料 1-8 に基づいて平成２４年度活動状況および今後の予定について説明がなされた．平成 24 年 11 月 7 日に愛媛大学にて開催された生コンセミナーin 松山において，講師らの旅費交通費は支部の経費で支出したことが報告された．

次に，コンクリート教育への助成について，本年採択された香川県立多度津高校には例年通り総会にて実施内容を報告いただくこととする．

コンクリート技術の研鑽会は，本部で実施しているコンクリート技術講習会の 1 日版という位置づけとして四国支部にて開催の予定で，1 年前，もしくは最新のテキストの使用許可と，講習会使用のプレゼンファイルの使用許可を得たものの，日程の制約や，技士試験受験者が四国は多くないことに加え，テキスト代金が一年前のものであっても割引くことができず参加費が安くならなかったため，メール審議

ののち，中止と決定された．

なお，中止となったコンクリート技術の研鑽会のかわりに，コンクリート基本技術調査委員会・不具合補修 WG 報告会を平成 25 年 2 月 1 日香川県高松市アルファアナブキホールにて本部主催，四国支部共催で催すことが決議された．

見学会については，資料 1-9 に基づいて森本常任委員より，当日の様子について報告がなされた．事業計画について，コンクリート甲子園と呼ばれる高校生のためのコンクリート強度コンテストを四国支部は協賛するかについて議論された．主催は四国高等学校土木教育研究会であり，例年 10 校程度で四国外からも参加する大会で，協賛する場合は 5 万円程度必要である．本会の開催の経緯を踏まえた上で，協賛するか否かを今後決定することとなった．

また，土木学会コンクリート示方書改定講習会を来秋四国で実施するため，JCI 四国支部との共催で開催する方向で調整することが決議された．また，物質フロー研究会の講習会を来年度開催する方向で調整することが決定された．

来年の総会の日程について，委員間で調整がはかられ，次回拡大幹事会，役員会は 2 月 8 日に開催し，4 月 12 日に役員会および総会を行う．総会は，平成 25 年 4 月 12 日にサンポート高松で開催し，懇親会は JR ホテルクレメント高松で開催されることが決定された．

来年度の役員の交代について，原則 2 年交代で再任可となっており，次年度新体制の原案は拡大幹事会と役員会で提案，交代するのであれば 4 月 12 日に新旧両者出席．詳細は昨年度の予定，議事を確認する．予算案提出については，2 月中旬に，決算は 4 月中旬に行う．

４．平成２４年度研究委員会報告および活動計画

氏家支部長より平成 24 年度研究委員会報告および活動計画について説明がなされた．

フライアッシュコンクリートの耐久性評価研究委員会(上田委員長)は本年度 3 回委員会が行われ，さらに 1 回来年 3 月に実施し，本年度で終了する予定である．本年度終了予定のコンクリートの強度に及ぼす養生条件に関する研究委員会(水越委員長)は，実験結果の取り纏めに時間を要するため，来年への延長を希望している．

鉄筋コンクリート造耐震壁の開口の取り扱いに関する研究委員会(甲斐委員長)は，甲斐常任委員より説明がなされた．第一回委員会は平成 24 年 8 月に高知市で行われ，特別講演会を実施しており，HP 上でのアップロード素材として当日の講演内容を提供可能であるとの報告がなされた．次回 3 月 8 日に実施予定であり，本研究委員会は来年度も継続予定であると説明がなされた．また，四国の生コン技術力活性化委員会(島委員長)については，古田幹事より説明がなされた．これまで 2 度委員会が行われ，各種研究および実験が活発に行われていると報告がなされた．本研究委員会は，来年度も継続し，本研究委員会の成果は，JCI 年次大会 in 高松で発表する予定である．なお，本研究委員会の議事録において，研究・実験内容が極めて詳細に記述されており，本議事録の HP での公開にあたって情報の流出が懸念されるが，アップロード用の修正議事録の作成の手間を考慮して，修正を実施せずに公開することが決議された．

５．平成２４年度コンクリート診断士・技士試験について

本部関連行事として，技士試験・診断士試験について説明がなされた．技士・主任技士の統括責任者は，原則 2 年交代としているため，引き続き橋本委員に担当いただく，事務責任者は次年度から香川県

生コン工業組合とする．診断士試験は例年支部長が担当するため，次年度は島委員，事務責任は香川県生コン工業組合とする．支部長就任は 5 月からのため，平成 25 年 4 月に開催する診断士講習会は氏家支部長を統括責任者とし，平成 26 年の 4 月の診断士講習会は島委員とする．（後日、本部より同じ年度の診断士講習会と診断士試験の統括責任者は同じがよい旨の依頼があったため、診断士講習会の統括責任者は島委員に変更した。）

６．平成２６年次大会２０１４（高松）について

氏家支部長より，これまでの年次大会に関する資料 1-10，1-11，1-12，および高松での年次大会に関する資料 1-13 に基づき説明がなされた．年次大会 2014(高松)の実行委員長は次期支部長の島常任委員とすることが決議された．

当年次大会のキャッチコピーについて，来年度名古屋での年次大会で平成 26 年度年次大会高松でのキャッチコピーを発表しなくてはならないため，早期に決定する必要がある．

次に年次大会での催しについて議論がなされた．名古屋で新しい催しとして，コンクリート工学会賞受賞者による講演が予定されており，高松大会でも継続する方向で調整することが決議された．また，例年の催しである生コンセミナーについて，参加人数は多くはないものの，熱狂的なイベント支持者がいるため，引き続き開催してほしいとの本部からの要望があるために，継続することが決議された．

続いて，資料 1-11 にある申し送り事項について，主として持ち込み PC に関するトラブルが指摘されているので，踏襲しトラブルを回避する必要があるとの報告がなされた．年次大会の実行委員会は本部にて来年 2 月 5 日に開催され，実行委員会の組織概要を報告する必要があるため，早急に決定したい．開催に要する予算は決定し次第，本部戸口氏に報告する．

７．その他

支部の HP およびサーバーについて，議論がなされた．鉄筋コンクリート造耐震壁の開口の取り扱いに関する研究委員会での講演会動画を HP 上にアップロードしたいが，アップロードには HP の改修が必要であり，容量等の問題から四国支部サーバーでのアップロードが難しい．サーバーは現在高知高専にある横井常任委員のものを使用しているが，JCI に帰属する情報群は，本来本部のサーバーにて管理されるべきであるとの観点より本部のサーバーの使用が望ましいと思われるが，現在のところ本部から割り当てられる HP 開設のための容量は数十メガバイトと極めて小さく，容量的に現状では移設が不可能である．本部の電子情報化委員会などに要望を伝え，支部毎の HP 用の容量増設を依頼することが決議された．

鉄筋コンクリート造耐震壁の開口の取り扱いに関する研究委員会において，委員数は 23 名であるが，非会員の者が多いため，資料には委員の詳細を掲載していなかった．JCI においては，本部委員会の場合は，非会員の委員の委嘱状などの提出手続きが必要であるが，四国支部委員会はこれまで不要としていたため，支部委員会委員には特段会員になって戴く必要はないものの，甲斐委員長には，委員に向けて今後会員となっていただくように促してもらうこととなった．

以上